

謹 啓

盛夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年、武雄市を襲った令和元年8月佐賀豪雨に際し、全国の皆様から様々な形で御支援、御協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

また、お礼状が遅くなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

さて、この豪雨において本市に2年連続の大雨特別警報が発表され、被害が大きかった北方町では1時間あたりの降水量は101ミリ、3時間累計の降水量は233ミリに達しました。また、本市の南部を流れ、有明海へ注いでいる六角川は、以前より有明海の干満差の影響を受けやすく、今回の豪雨の時間帯が有明海の満潮となる時間帯と重なり、六角川の排水ポンプの運転調整（停止）が行われ、市内各地に内水氾濫が発生しました。結果的に、武雄市全面積の約10分の1にあたる1,920haが浸水し、最大の深さは約2.7m、床上・床下浸水は1,536世帯をかぞえ、市道や市河川は117カ所、農林業は788カ所が被害を受け、かけがえのない市民の生命と財産が奪われました。

約1年が経過した現在でも数世帯の御家庭が市営住宅などへの一時避難を余儀なくされており、浸水した地域では近頃ようやく畳が設置された御家庭も少なくありません。

また、雨が降れば夜も眠れないと訴える方など生活に不安を抱いた方がおられます。

本市では「被災前よりも一人一人が幸せを実感できるまちへ」を基本理念とした「武雄市創造的復興プラン」を本年1月に策定し、特に「災害に強いまちの創造」として、①市内全戸への戸別受信機設置 ②防災アプリの構築 ③自主防災組織の強化と活動支援 ④新たなハザードマップの整備 ⑤浸水予測システムの開発について最優先課題として取り組み、自助・共助・公助の強化と被害を最小化する減災対策に取り組んでおります。

なお、被害を受けた道路や河川は本年8月末、農林業は1カ所を除き来年3月末で工事完了を予定しています。

何よりも被災された方々が、1日も早く笑顔と安らぎを取り戻せることを第1に考え、安心して生活できる武雄市を官民一体となって創り上げてまいります。

末筆ながら、皆様の今後ますますの御健勝・御発展を心から祈念申し上げ、お礼の御挨拶とさせていただきます。

謹 白

令和2年8月3日

武雄市長 小松 政